

巡検・セミナー開催のご案内

令和4年度の巡検・セミナーについては、新型コロナウイルス感染状況やワクチン接種などを判断しながら安全に留意し実施する予定です。当面、屋外巡検、屋外で

の昼食や休憩を検討します。現在、久里浜・浦賀周辺巡検を検討中。開催日は11月12日もしくは19日（いずれも土曜日）。詳しくは11月1日発行予定のICIC Newsかホームページ（10月末掲載予定）でお知らせします。

展覧会情報

地図と文学の素敵な関係

期間 ~8月14日
会場 北海道立文学館（札幌市中央区）
電話 000-511-7655

鉄道網から読み解く近代日本

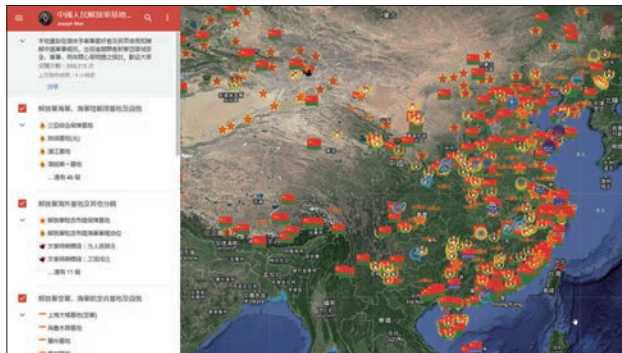
期間 ~8月28日
会場 ゼンリンミュージアム（北九州市小倉北区）
電話 093-592-9082

mini地図NEWS

▶ Googleマップ上に中国の軍事施設や拠点をもとめた「中国人民解放軍基地と施設」が公開

中国人民解放軍の海軍基地・空軍基地・戦略的支援部隊重要基地・軍事および政府拠点・陸軍士官学校などがまとめられたマップが「中国人民解放軍基地と施設（随時更新）」です。マップの作成者は「軍事愛好家や一般市民が中国の軍事状況を理解することを手助けし、東アジアにおける安全保障や軍事問題などの議論を促進すること」を目的としています。台湾の国営通信社である中央通訊社（CNA）の報道によると、マップの製作者は東呉大学の音楽学部の学生であり、中国圏のインターネット上でも話題となっているとのこと。

（GIGAZINEほか）



中国の軍事施設の多さが際立つ

地図記号わくわく大図鑑 2022

期間 ~9月25日
会場 地図と測量の科学館（つくば市）
電話 029-864-1872

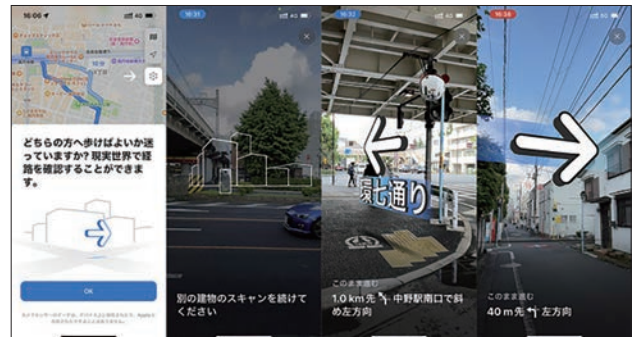
地図最前線—紙の地図からデジタルマップへ—

期間 ~9月25日
会場 神奈川県立歴史博物館（横浜市中区）
電話 045-201-0926

▶ Appleのマップが「拡張現実による徒歩経路」に対応、国内で確認

Appleの地図アプリ「Appleマップ」において、「拡張現実による徒歩経路」が、国内の一部地域で利用できることが確認されました。「拡張現実による徒歩経路」機能は、iPhoneカメラがとらえた周囲の風景に拡張現実（AR）技術を使って経路を示す矢印を重ね合わせて誘導する機能です。利用できるエリアであれば、マップアプリで徒歩の経路案内を利用すると、画面左上にARを示す立方体をイメージしたアイコンが表示されます。同機能は、2021年6月に開催された「WWDC 2021」で発表された機能で、米現時点で、ARナビゲーション機能の提供国一覧に日本はまだ記載されていませんが、個人ブログ「Ata Distance」によると、東京以外に大阪、京都、名古屋、福岡、横浜でも利用できるとしています。

（日経XTECHほか）



ルート検索画面に表示される「ARボタン」を押すとARでのナビゲーションが利用できる（写真はITmediaより）

地図絡み

パソコンを起動してみたら

(一財) 地図情報センター 監事 伊藤 等

はじめに

Windows 10のパソコンを起動すると世界各地の風景写真が現れます。

先日、興味深い風景写真が現れました。植物に覆われた山の中に1本の道路が走っているだけのシンプルな構図でしたが、場所を特定すると「三国峠」と多くの写真とともに出ました。初めて見る構図の日本の風景でしたが、残念ながら数日すると異なる風景写真に変わってしまいました。web検索から写真1を見つけ、Windows 10画面は恐らく写真1の道路をほぼ横目に見る構図であったと記憶しています。



写真1: 上士幌町観光協会ホームページより引用
<https://www.kamishihoro.jp/page/00000140>

場所がわかれば地図探し

いつもお世話になっている国土地理院 地理院地図から検索。

この様な2枚の地図を得ました。

それにしても「緑深橋」から「松見大橋」の曲線道路な



図1 地理院地図「大雪湖」、「石北峠」、「石狩岳」、「十勝三股」の4面で周辺を含め読図することができます。

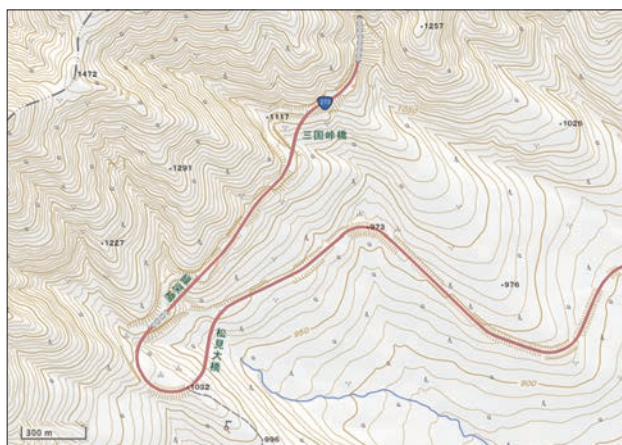


図2 三国峠橋とあるあたりが写真1の風景写真でしょう。

ど等高線から地形をうまく利用した道路だと読み取れるのではないのでしょうか。

ところで「三国峠」とはどの様なところ？

「北海道の国道の中で一番標高の高い峠(標高1,139m)。緑深い夏の大樹海、秋の黄葉が魅力。樹海と松見大橋が織り成す美しい眺めも見逃せない」と上士幌町観光協会ホームページに紹介されていました(展望台もあるとのこと)。

こんなものも見つけました。



図3 地理院地図 2万5千分1「石狩峠」。北海道大分水点とあります。

「北海道には、日本海に注ぐ石狩川、太平洋に注ぐ十勝川、オホーツク海に注ぐ常呂川の源流が、北見市(留辺蘂町)、上川町、上士幌町の市町境の交点にあります。北海道には3つの大分水嶺が存在し、この交点は三国山山頂から西に300mほどのところに位置しています」。また、「ここに、「北海道大分水点の碑」を設置し、「水・森林・川・海」のシンボルとして記念します」と、北海道森林管理局 (<https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/press/kanri/191004.html>) のホームページにありました。3つの外海に流れ出る大分水点は、日本にはここにしかありませんとも記されていました(詳細はホームページをご覧ください)。

まだまだ知らない日本、魅力的な日本があり、これからも大いに好奇心を発揮して日本全国津々浦々魅力的な日本を探していこうと考えています。

(2022.7)